YCだより

YC（読売新聞販売店）より耳寄りな情報をお届けします。
県内のスポーツ情報も随時掲載致します。

吉野家 牛丼の具セット

申込番号 981044
①10食（牛丼の具×10）
※1食あたり600円（税込）
6,000円（税込）

申込番号 981045
②20食（牛丼の具×20）
※1食あたり445円（税込）
8,900円（税込）

申込番号 981046
③30食（牛丼の具×30）超!! お買い得
※1食あたり400円（税込）
12,000円（税込）

申込番号 981047 お試しセット
④6種（計12食）＋紅しょうが
牛丼の具×2、豚丼の具×2、牛焼肉丼の具×2、親子丼の具×2、鶏すき丼の具×2、豚しょうが焼×2、紅しょうが×1
6,900円（税込）

申込番号 981048 読売オリジナルセット
⑤4種（計20食）
牛丼の具×8、豚丼の具×4、牛焼肉丼の具×4、親子丼の具×4
9,000円（税込）

配送料・代引き手数料 込み 冷凍便
■ご注文・お問い合わせは通話無料のフリーダイヤルで
0120-130-170
AM9:00～PM8:00（土・日・祝日もお受けします）
企画番号 5936 ※ご注文の際は企画番号・申込番号をオペレーターにお申し付けください。
受付締切 2025年1月23日（木） 商品配送 2月上旬
支払方法 ①商品お届けの際に代金と引き換え（代引手数料無料）
②クレジットカード（翌月一括払い、リボ払い、分割払い）
※ご本人名義に限ります。※一部、提携カードで受け入れできないものもございます。

お客様のご都合による返品はお受けできませんので予めご了承ください。但し、商品の汚損・破損などについては、商品到着後、直ちにご連絡ください。返送料当社負担で新しい商品とお取り替えいたします。
●返品・交換は商品到着から8日以内にご連絡ください。
●ご注文をいただいた方（以下「お客様」）のお名前、ご住所、電話番号、申込内容等の個人情報は、株式会社読売情報開発（以下「当社」）とお客様の地域を担当する読売センター（YC）が共同で利用し、商品のお届けのほか、お客様からのご連絡やお問い合わせへの対応、販売促進キャンペーンのご案内の送付、新聞の配達・集金業務の遂行、各種サービス・イベントのお知らせ、ご購読の勧め、ご購読の延長、新聞以外の取扱商品のご案内、YC及び読売グループが協力・提携する企業の商品・サービスのご案内、宅配業務に利用させていただく場合があります。なお、お客様の個人情報は、当社とYCが責任をもって管理します。個人情報の取り扱い、読売グループでの共同利用については、https://info.yomiuri.co.jp/privacypolicy/kyoudouriyou.htmlをご確認ください。

読売通販 ねせぱ 株式会社 読売情報開発 リテール課
〒102-8618 東京都千代田区平河町2-13-3

18歳以下の大会

中学生が決勝進出

羽生田杏 大健闘

高校生相手に果敢に攻めた

好調だったフォアでポイントを挙げる羽生田

【女子】
▽決勝
日下部光優（高）
（秀明英光）
7－6
2－6
4－0
羽生田杏（グリーンテニスプラザ）

2024年度さいたまジュニアカップテニス

2024年度さいたまジュニアカップテニスが1月4～7日、大宮第二公園テニスコートで行われた。18歳以下の大会で、女子決勝には中学2年生の羽生田杏（14、グリーンテニスプラザ）が進出。高校1年生の日下部光優（みゆう、16、秀明英光高）に0－2で敗れたが、第1セットではタイブレークに持ち込むなど、ハイレベルなプレーを見せた。

タイブレークに

羽生田の挑戦は1時間40分で終わった。第2セットの第10ゲーム。相手のマッチポイントにも果敢に攻め続けたが、ラリーの末に羽生田のショットがわずかにラインをオーバーした。18歳以下で争われる今大会に初出場し、準々決勝では高校生、準決勝では1学年上の中学3年生を撃破した羽生田の進撃が止まった。

「サーブの不調が痛かった」。金星まであと一歩と迫った羽生田だが、反省が先に立った。ダブルフォルトそなかったが、スピードを抑えたサーブは相手の鋭いリターンを許した。それでも、簡単には終わらせない意地を見せた。第1セットはリードを許しながら「相手に打たれても攻めていこう」と強気のショットでタイブレークまで持ち込んだ。第2セットも1－5から3ゲーム連続奪取。「フォアのストレートがいいところに決まってくれた」と、プレーの中で活路を見出した武器でポイントを稼いだ。

小学6年時に全国4強の逸材が順調に成長

小学6年時に全国4強の逸材が、まじめに練習に取り組む姿勢で順調に成長してきた。昨年終盤からスピンの習得にも取り組み、「前は真っすぐにしか打てなかったので」と、今大会ではプレーの幅を広げて快進撃につなげた。

諦めずにプレー

「高校生はパワーとスピードが違う。タイブレークの時も力で押し切られた」と分析した羽生田。今季の全日本ジュニアなどでは16歳以下のカテゴリーとなるため、年上との対戦が増える。「諦めずにプレーできたし、粘り強くいけた。今後はサーブの威力や確率を上げて、重いボールを打てるようにならないと」。収穫と課題を抱えて、羽生田が次へ向かう。

中学2年生ながら準優勝まで勝ち上がった羽生田

日下部 プレッシャーあった

○…追い上げられながらも、最後は冷静なプレーも見せて振り切った日下部。「中学生には負けられないプレッシャーがあった」と、ほっとした表情を浮かべた。「（羽生田が）強い選手というのは分かっていたので、甘い球がいかないよう気をつけた」と続けた。昨年は1年生ながらインターハイにも出場しているだけに「今年は全国上位を目指す」と誓った。

女子決勝を制した日下部